

新規事業採択時評価結果（平成18年度新規事業化予定箇所）

担当課：有料道路課

担当課長名：木村 昌司

路線名	中国横断自動車道姫路鳥取線 はりましんぐう やまざき 播磨新宮～山崎JCT		事業区分	高速自動車道	事業主体	西日本高速道路(株)
起終点	自：兵庫県たつの市新宮町角亀 至：兵庫県宍粟市山崎町市場				延長	12km
事業概要 中国横断自動車道姫路鳥取線は、姫路市を起点として、たつの市、相生市を經由して宍粟市で中国自動車道と接続、その後佐用町にて分岐し、美作市及び智頭町を經由して鳥取市に至る延長約86kmの高速自動車国道である。						
事業の目的、必要性 たつの市～宍粟市間は、並行する一般国道179号及び29号と共にダブルネットワークを形成して、道路交通の信頼性向上、姫路市と鳥取市間等の旅行時間の短縮、一般国道179号及び29号の混雑緩和・地域環境改善、沿道地域の住民生活及び地域活性化に寄与する重要な区間であり、社会経済活動の発展を大きく促進するもの。						
全体事業費	598億円		計画交通量	7,400台/日		
費用対効果 分析結果	B/C	総費用	総便益	基準年		
	3.3	403億円 (事業費：374億円 維持管理費：29億円)	1,344億円 (走行時間短縮便益：1,235億円 走行費用減少便益：69億円 交通事故減少便益：40億円)	平成17年		
感度分析の結果 交通量変動：B/C=3.9(交通量+10%) B/C=2.8(交通量-10%) 事業費変動：B/C=3.1(事業費+10%) B/C=3.7(事業費-10%) 割引率変動：B/C=2.9(割引率+1%) B/C=3.9(割引率-1%)						
事業の効果等 <ul style="list-style-type: none"> 指標2（新幹線・空港へのアクセスが向上する） 円滑なモビリティの確保（新幹線駅へのアクセス向上が見込まれる（相生駅 山崎町）） 指標9（地域振興プロジェクトに資する） 個性ある地域の形成（拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクトを支援する（西播磨テクノポリス（播磨科学公園都市）エコ・キャンパス「しろうの森」）） 指標15（高速道路ネットワークの代替経路となる） 災害への備え（並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（神戸市 岡山市 中国横断+中国道+中国横断）） 他6項目に該当 						
関係する地方公共団体等の意見 山陽自動車道と中国自動車道を結ぶとともに、播磨科学公園都市へのアクセス路となる路線であり、早期事業化を希望。（兵庫県）						
事業概要図						

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価格を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。